



ことりのピピ

～ 小さな勇気のものがたり ～



森に小さなことりのピピがいました。

ピピは歌うことが大好き。



でも、みんなの前だと声が出ません。

のどがキュッとなって、歌えなくなるのです。



「どうして僕だけ歌えないんだろう...」

ピピは泣きました。



「おや、どうしたんじゃ？」

年老いた**ふくろうじいさん**がやってきました。

戸をなくしたのではなく

梟

「お前さんは、勇気を眠らせているだけじゃ。

最初の一音だけ出してごらん」



次の朝、ピピは深呼吸しました。

「最初の一音だけ…」

「ピ…」

小さな、小さな声。

でも確かに声が出ました！



「聞こえたよ！もっと聞かせて！」

この物語から：

完璧じゃなくていい。

小さな一歩が、すべてを変える。

お し ま い



今日のあなたの「最初の一音」は？